

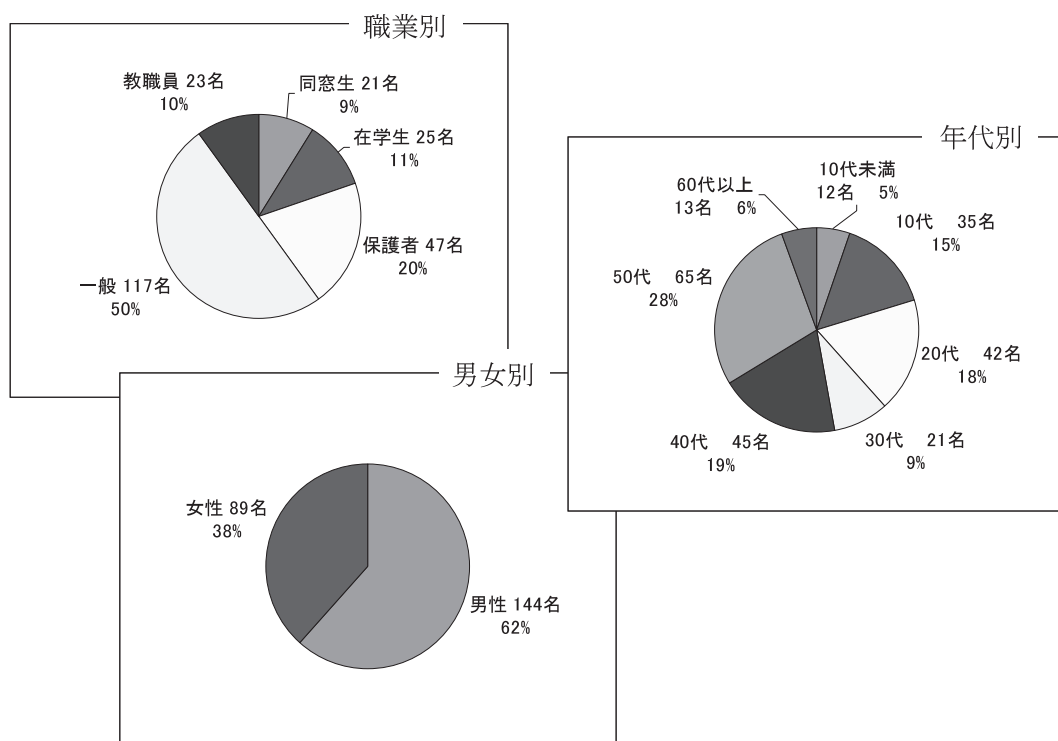
4. 【名古屋大学ホームカミングディ】 情報連携基盤センター施設公開の報告

9月30日（土）に、名古屋大学東山キャンパスにおいて、全学同窓会との共催で「第2回名古屋大学ホームカミングディ」が開催されました。

この行事は、卒業生・修了生、学生、現教職員等の本学関係者や学生の家族、地域の方々に、本学の活動に関する情報を発信するとともに、交流の場を提供し、大学の活動を理解してもらうことを目的とするもので、昨年に引き続き2回目の開催です。

情報連携基盤センターは今年からの参加で、センター公開と研究部門の研究紹介をする事とし、計画、準備を進めてきました。センター公開では、スーパーコンピュータ見学ツアーと称して、スーパーコンピュータの見学とスーパーコンピュータの計算結果を可視化して見せるバーチャルリアリティシステムの体験をしていただきました。また4つの研究部門の研究開発テーマ紹介として、ポスター・デモ展示を行ないました。

当日は、一般の人の関心が何にどれだけあるか、来訪者がどのくらいか未知の状況でスタートし、スタッフみんな期待と不安な思いで待機していましたが、公開最終の16時までには、幼児から60才以上の方まで幅広い年齢層の233名の方が立ち寄っていただきました。





バーチャルリアリティシステム体験



スパコン見学

1階ロビーでは研究部門の紹介として、「テレビ画面での計算シミュレータの解説」「コミュニケーション支援の研究」「テキストマイニング・自然言語処理」「多言語地震防災情報翻訳システム」などのポスター・デモ展示をおこないました。



しゃべるロボットも登場し、子供はもちろん大人にも人気。怖くてベソをかく幼児がいたり、笑いあいのなごやかな雰囲気でした。

文化祭的雰囲気もあり、楽しいイベントとなりました。



コミュニケーション・ロボットの実演



ポンポン船実演

流体力学を応用したおもちゃに子供はくぎづけ。

右往左往しながらの対応で、せっかく来ていただいた方が不満を持たれたらどうしよう・・・という心配も、帰り際に「おもしろかったよ」と声をかけてくださった方がみえ、胸のつかえが取れる思いでした。そのうれしい言葉に励まされ、来年ももっといい企画ができるようにしていきたいと思っています。スーパーコンピュータをはじめ、日頃のセンターの研究を広く知っていただくとともに、将来の科学者に夢を与えられるような企画もまた必要なことだと思う一日でした。

(広報専門委員会事務担当 M.M.)